

Aグループ

①津波被害を抑えるための対策

- ・川の護岸のかさ上げ。
- ・川の水門対策。
- ・被害のないエリアに水門操作もできる体制(遠隔で)。
- ・住民としては、ほとんどの人が防潮堤の整備を望んでいる。

②景観・観光

- ・何を犠牲にするか？景観を我慢する。
- ・景観に配慮。
- ・何かとなく99%賛成だが、観光業との兼ね合い。
- ・観光業との歩み寄り。
- ・日帰り客が避難する場所がわからない。
- ・観光の問題。7mは高いイメージ。
- ・海水浴。
- ・観光客の減。

③その他

- ・全て反対では歩み寄りがない。
- ・まずは命が大事。良いものを造る。
- ・県全体としては、住民からの意見により、なかなか進んでいない。
- ・7m位の高さのイメージ図もあった。
- ・空白の5年間。
- ・高さは全体で合わせないと行けない。
- ・工事期間中(チェックイン、チェックアウトまで)工事音を出すと言われてたらそれでもやるのか？
- ・予算の確保は可能。
- ・水門の開け閉め、地元(住民)で行う体制は可能か。
- ・命 大切。完了までの期間。
- ・スペースがない。

Bグループ

①津波被害を抑えるための対策

- ・避難通路の整備。
- ・適切な海浜に。7m位の堤防を造る必要は当然と思います。
- ・屋形の方の堤防の高さを高くすることができないか。

②景観・観光

- ・景観の問題。

③その他

- ・昨年か一昨年、海底をボーリングしたと思いますが、その調査結果は？
- ・我が家の位置から津波発生の際には中学校グラウンドへの避難となりますが、運動場の扉の開閉の問題。
- ・緊急時はカギを開ける？(夜、不在)

Cグループ

①津波被害を抑えるための対策

- ・高齢者の避難方法。
- ・負傷者等置いて避難できない。
- ・9m防潮堤。観光の影響。一般住民は無ければ心配。
- ・言葉よりサイレンの自動放送。

③その他

- ・建物倒壊が心配。
- ・陸閘が閉まらなかった場合。
- ・震源地の場所によって変わる。
- ・想定外がある。
- ・想定3～5分でも揺れてる時間は避難できない。実際は何分あるか？
- ・家族が皆 一緒のときは少しはいいが、バラバラになっていたときが心配です。あと、夜の暗いときも心配。
- ・夜の避難が心配。
- ・ライフジャケット着て避難しない？

Dグループ

①津波被害を抑えるための対策

- ・避難訓練は多く行っている。
- ・ハート整備。
- ・建設予定の堤防の構造について、津波の威力に対してどの程度の強度があるのか。
斜流による破壊力の増大。
- ・防波堤の必要性。
- ・海岸線以外の海上での防御などないか？
- ・海のところで閉められないか。
- ・堤防は海岸でなければだめか？国道かさ上げ。
- ・L1以下で建設の場合、既存(大藪地区)と同等でもOKなのか。
- ・工期に時間がかかるので、砂浜にタワーの建設は？
- ・段差をなくす(老人のため)。
- ・防潮堤のかさ上げ。
- ・安全と思われるところまでの避難路。高齢者対応。
- ・道の整備(細い道)。
- ・山川の水門設置。

②景観・観光

- ・景観、観光。
- ・海水浴地でなくなる。
- ・観光地としての景観が損なうおそれあり。
- ・観光産業が大きく崩れた場合、誰が責任を取るのか。
- ・大藪堤防は景観が良いとは言えない。海へ行かれない。

③その他

- ・避難。
- ・土砂災害危険区域の整備。
- ・工期はどのくらいかかるのか？
- ・避難するのを最優先に考える。
- ・避難地への移動の困難さ。(例)建物の倒壊による道路の通行不可。
- ・シミュレーションを見て、実際の…。現実的に逃げることができるのか？
- ・逃げられる時間がわからない。
- ・そもそも浸水深さの想定が甘くないか。
- ・水門、陸閘 電気が伝わらなくなったら閉まるのか心配。
- ・土肥地区のシミュレーションモデルを、防潮堤があった場合とない場合で知りたい。
- ・安政地震はL1だったのか。

Eグループ

①津波被害を抑えるための対策

- ・日頃の訓練。どこへ逃げれば命が助かるか。
- ・足腰の弱い人は逃げるに大変。
- ・逆流に対する対策はありますか？
- ・防潮堤によらない対策を検討する。
- ・アクセス道路。
- ・火振川の水門は？(ハード)
- ・区としてヘルメット、ライト、ライフジャケット配布したが、他に個人で準備したら役に立つものは？
- ・避難後の必需品等の保管庫を確保する場所は？
- ・想定される地震の後、救援等はどうなる？道路は大丈夫？

②景観・観光

- ・土肥は多数の人が海と関わってきています。海、海岸を崩してしまつては、土肥の町が崩れてしまう恐れがあります。海を崩さない(景観、水産)防災対策を検討していく。
- ・観光(景観)、産業、人命を守る、生活を守る。もっと意見交換を必要とするのでは？

③その他

- ・三陸のスーパー堤防が役に立たなかったが、L2のレベルに対して想定外になるのでは？
- ・県としてはL1、L2どちらを想定した堤防を進めるか？
- ・膝までの水で動けるか。3分。
- ・(津波の速さ)流れの速さは？
- ・避難場所どうしの連絡方法？(家族の安否確認) ソフト。
- ・せり上がり高さは、構造物の形で変わるのか？
- ・営業されている商店等の避難の徹底対策(ソフト)。